

令和6年度 園経営計画 足立区立本木保育園

園長 梶原 里美

1 園の経営目標

- (1) 保育目標「がんばる子、やさしい子、元気な子、考える子」を育てる。
- (2) 子どもの人権を尊重し、多様性を受け入れた園運営を行う。
- (3) 保護者と地域の子育て支援を行うと同時に、地域における子育て拠点としての役割を果たす。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは好きな遊びを見つけて夢中になって遊んでいる。特に園庭では、自由に探索活動を楽しむ姿や異年齢と関わる中で、憧れや思いやりの気持ちをもって遊ぶ姿が見られる。
- (2) 保育者は子どもの気持ちを大切に、一人一人の心に寄り添った丁寧な対応を心がけ、子どもたちにとって安心できる人的環境となっている。
- (3) 保護者の方々には園の保育・教育内容への理解と様々な協力をいただいている。また近隣学校や図書館、自治会、商店街など地域の方々には、貴重な体験の場を提供していただいている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1	子どもの発想を生かした保育の実践。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもとの対話を大事にしなが ら保育をすすめる。	ア 子ども自身が考え、試行錯誤する時間と空間を保障する。 イ 子どもの発想を様々な表現で周りの子どもたちに繋げ、一緒に楽しんだり面白がったりしていく。
(2) 「やってみたい」を引き出せる 保育者の育成と保育力の向上。	ア 日々の実践から保育者の言葉選びや援助のタイミングなど、事例を通して学び合い保育力の向上を図る。 イ 「心が動いた瞬間」をテーマに園内研修を行い、新たな気づきや学びを実践に活かす(年4回以上実施)。
重点的に取り組んでいきたい事項－2	本を自ら進んで手に取り、見たり読んだりする子どもを育てる。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 本の面白さや不思議さを感じる 体験を繰り返す。	ア それぞれの心に届くよう、様々な分野から選書していく。 イ 子どもが考えたり発見したりできるような読み語りを実践しながら、楽しさや面白さを共有していく。
(2) 読書の大切さを発信する。	ア 保護者会や絵本だより(年4回)で、本を手にする子どもたちの様子や幼児期に本に触れる大切さを発信していく。 イ 読んだ本の紹介(毎日)や年齢に応じた貸し出しを行う。
重点的に取り組んでいきたい事項－3	自分も周りの人も大切にする気持ちを育てる。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 肯定的な言葉や態度で関わる。	ア 子どもの話をゆっくり丁寧に聞き、思いを受け止め、子どもが大切にされていると感じられる関わりを実践する。 イ どんな時も自分の思いを表現できる関係を築くと同時に、相手の思いにも気付けるような言葉で対応していく。